

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
		担 当	健康増進 G 本村
会議名 (審議会等名)	令和元年度 第2回嬉野市健康づくり推進協議会		
開催日時	令和2年2月21日(金) 14:00~15:30		
開催場所	嬉野市役所 塩田保健センター 2階会議室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由	/		
出席者	委 員	坂本委員	杵藤保健福祉事務所保健監
		樋口委員	嬉野町医師会会長
		谷口委員(会長)	塩田町医師会会長
		古賀委員	嬉野市歯科医師会会長
		北委員(副会長)	嬉野市薬剤師会代表
		國政委員	塩田地区行政嘱託員代表
		田平委員	嬉野地区行政嘱託員代表
		古川委員	嬉野市食生活改善推進協議会会長
		田崎委員	嬉野市商工会女性部部长
		坂本委員	轟小学校養護教諭
		松本委員	嬉野市民生児童委員協議会会長
		北村委員	嬉野市老人クラブ連合会会長
		古瀬委員	嬉野市母子保健推進協議会会長
		宮崎委員	学識経験者
	事務局	健康づくり課長、 健康づくり課副課長、健康づくり課(健康増進 G)係員	
	その他		
会議の議題	別紙「協議会資料」のとおり		
配布資料	「協議会資料」		
審議等の内容	別紙のとおり		

審議等の内容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議題	1.開会、2.副市長あいさつ、3. 協議会会長、会長 あいさつ、4. 協議 5.閉会		
内容	事務局の進行により、議題 1～4 までを進めた。		
審議経過	1 開会 (省略) 2 副市長あいさつ (省略) 3 協議会会長、会長 あいさつ (会長) 樋口委員 (省略) 4 協議 5 閉会		
その他			

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	協議事項 1. 令和元年度保健事業実績（見込み）について 2. 令和2年度保健事業計画について 3. 質疑応答		
内 容	事務局より、事業計画等の概要説明を行いました。		
審議経過	事務局	令和元年度保健事業実績（見込み）・令和2年度保健事業計画について説明（内容は資料による）	
	委員	令和元年度保健事業実績（見込み）・令和2年度保健事業計画に対しての質疑はございますか。	
	委員	予防接種について、接種しやすい状況をつくってほしい。また、1歳6ヶ月児・3歳児健康診査の結果で、要観察児の割合が多いのはどうしてか。	
	事務局	予防接種の機会の確保については、現在佐賀県内の広域で実施できるようにしており、医療機関に問診表を設置させていただき対象の方の手間を省いてできるようにしています。また、3月には佐賀県内予防接種強化月間を設けてあり、医療機関での受入の機会を増やしてもらっている状況です。 幼児の健診結果で要観察の割合が多いことについて、要観察と判断した内容については、言葉の遅れや多動傾向、保護者が心配に思っているなど様々。要精密・要医療と異常なしとの境界域の方が多い。要観察としてあげることで経過を見ていけるようにしています。	
	委員	風しん第5期の抗体検査の人数で、抗体陰性と陽性の数の合計が合わない。 風しん第5期の抗体検査・予防接種と、高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種でハガキを持参し来院される方が多い。ハガキ等での受診勧奨の効果があると思われる。	
	事務局	風しん第5期の抗体検査の人数の内訳が違っておりましたので、修正いたします。	
	委員	佐賀県でSAGATOKO（サガトコ）アプリを開始しているが、健康マイレージとの連携はどうされているのか	
	事務局	SAGATOKO（サガトコ）アプリと健康マイレージと連携して実施できるように考えていきたい。 市の職員の加入も推進している。SAGATOKO（サガトコ）アプリと健康マイレージと同時実施することが効果的と思われます。やる気	

		もですと思われるので活用していきたいと思います。
委員		特定健診の対象について、40歳～75歳までと記載されています。75歳以上の方は、健診はどうなるのでしょうか。人生100歳までといわれる時代ですので、75歳以上の方も元気で過ごせるように健診等考えてほしい。
事務局		75歳以上の方は後期高齢者健診があります。 後期高齢者健診の受診率は、嬉野市は佐賀県で一番高いです。医療機関が充実し、協力いただいているためと思われる。
委員		癌を早期に発見することで、早期治療に結びついていると思われるが、先進医療で、少量の血液や尿で癌が見つかるとの話を聞いたが、現状はどうか委員の皆様で情報をお持ちならお聞きしたい。
委員		まだ正確な情報は医師会にも届いていない。反応があったから必ず悪性なのか、特異度と感度というものがあり、異常がないものも反応するのか、などまだ不明な点がある。検査された件数が増えていき、明らかにされていくので今の段階ではなんともいえない。
委員		臨床で用いることができるのはまだ先の印象。感度がどれくらい信頼できるのか分からないので、スクリーニング（がん検診）として有効なのかは分からない状況です。
委員長		事務局より、1点提案をお願いいたします。
事務局		新型コロナウイルスについて説明をいたします。 現在報道でなされているとおり、世界的に流行しており、先日福岡県でも感染が確認されました。現在の市の対応についてお伝えいたします。1月28日に1回目の対策会議を開催しています。その後第2回目の対策会議を2月20日に開催しています。構成メンバーは3役と部課長等。内容は、厚生労働省や佐賀県等からの通知等の情報共有と、イベント開催時の対応、マスクや手指消毒薬の確保について等です。職員については検温と行動記録を行うように決まりました。新型コロナウイルス感染症は「新型インフルエンザ等対策特別措置法」には該当しませんが、新型インフルエンザが流行した10年程前に嬉野市新型インフルエンザ行動計画を策定していますので、これに準じた形で対策を行っている状況です。 市民への情報発信については、リーフレットの班回覧やホームページ掲載、防災無線で行っている。現時点では、過度に心配することなく、季節性のインフルエンザと同等の感染症予防に努めてほしいことを伝えています。
委員		市のホームページでも見られるのか
事務局		市のホームページに新しい内容を掲載している。県や国ともリンクしているので、活用してほしい。
委員		嬉野市は旅館等もあるので心配だが、発生した場合は嬉野市長が発表することになるのか。佐賀県知事が対応するのか？

	<p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>現在の状況では、佐賀県と厚生労働省が発表すると思われます。</p> <p>コミュニティでの行事の開催をするかどうかの判断を迷うところであるが、責任を問われるのでどうすればよいのか悩ましい。</p> <p>イベント等の開催について、県から中止しなさい等と強制はしていない。内容や規模、場所によって検討が必要。主催者が判断することになる。風邪症状のある方は出席を控えていただく等の対策をとってもらうことになる。</p> <p>市の方でもイベントの開催をどうするかを検討をしている。やると決めているものもある。やる場合には、熱がある方にはご遠慮いただき、入り口での手指消毒、換気、人と人との距離など対策を講じて行う。また、開催する関係者と密に検討して決定する。今後佐賀県内で発生したら、もっと厳格に考えていかないといけない状況になっていくと思われます。現在は一つ一つ議論しながら決めている状況です。</p> <p>現在は福岡県で発生したことを受けての判断の決定、今後は佐賀県で発生した場合にどうするのかなど、状況に合わせた判断となっていく。</p> <p>《協議事項すべて終了、閉会(健康づくり課長)》</p>
その他	なし	